

# 道徳科学習指導案

日 時 令和元年 11 月 28 日 (木)  
5 時間目 (13 : 20～14 : 10)  
対 象 第 3 学年 2 組 3 6 名  
学校名 昭島市立福島中学校  
授業者 主幹教諭 佐野貴昭  
会 場 1 階 3 年 2 組教室

## 1 主題名 「自分を裏切らない」

## 2 ねらいと教材

- (1) ねらい 主人公の「自分を裏切らない」という姿勢を通して、主体的にきまりを守ろうとする道徳的判断力を養う。
- (2) 教 材 「闇の中の炎」(出典：「中学道徳3 きみがいちばんひかるとき」光村図書)

## 3 主題設定の理由

本主題は、中学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）道徳

特別の教科 道徳 第 2 内容

[C 遵法精神、公德心]

法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりより在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たし、規律ある安定した社会の実現に努めること。

を受けて設定した。

### (1) ねらいとする価値について

自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任をもつことが道徳の基本である。したがって、深く考えずに多数派についたり、責任を他人に転嫁したり、正当化したりするのではなく、自らの規範意識を高め、自ら律することができなければならない。衝動的に行動してしまい、負い目を感じてしまうことがある。その場合に、自分自分や他者にどんな影響や結果が起こるかを深く考え、失敗を含めて結果を受け入れ、自らの間違った行為を認めることが重要である。そして、自ら判断し正しいと判断したことに自信をもち、望ましい行動をとれるようにすることである。悪を悪とはっきり捉え、それを毅然として退け、善を行おうとする良心の大切に気付くようにしなければならない。この主人公の理沙が揺れ動く内面を深く追求させることによって、「良心」の存在やその働き、それに従って行動を決めることの大切さに気付かせ、自らの規範意識を醸成させていくことをねらいとしている。「自分がだめだと思ったらだめなんだ」というような、「自分の良心に基づいた考えに背かない」という、主体的な態度や心情を育てていきたい。自分を「裏切らない」という自尊心や「何ら負い目をもたないで公明正大に生きる」というプライドや守りたい誇り高い自分にも気付かせていく。

## (2) 生徒について

### 省略

## (3) 教材について

### 【教材の概要】

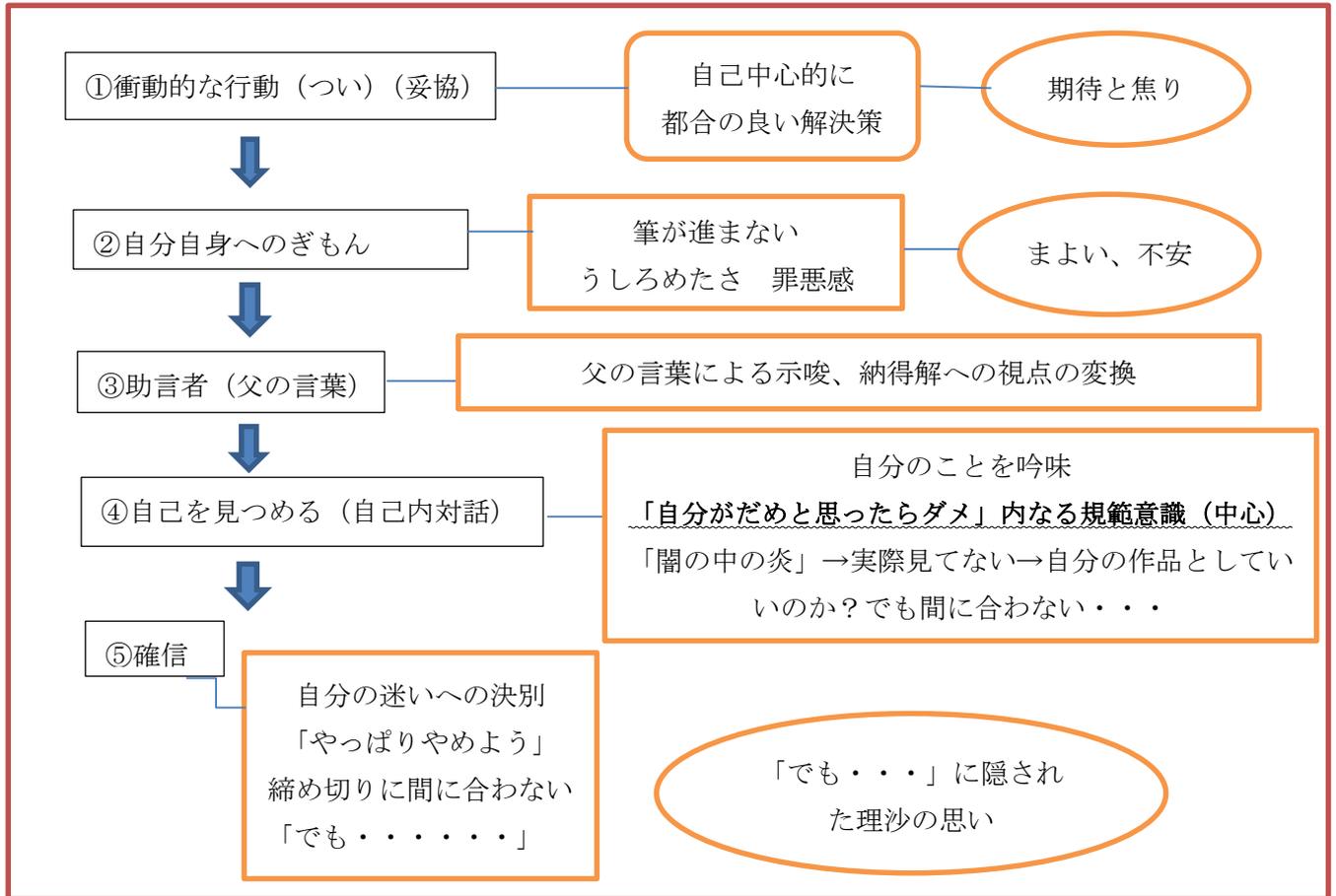
本教材は、主人公が、画集にある作品を参考に自分の作品を描こうとするが、次第に人の真似をしていることへの後ろめたさを感じて葛藤する姿を描いている。自分の心に迷いが生じたとき、決断させるのは自分のなかの良心である。正・不正の迷いが生じたとき、内面で自分自身に働きかけるのは、「打算」であり、それに反する「良心」である。その良心からの規範意識を主人公の立場に立って共感的に考えせることのできる教材である。

### 【教材の活用の視点】

技法を身に付けるときなど、人の真似をして学ぶことは多いが、理沙は、そのまま見てもいない闇の中の炎を真似してかいた。芸術作品や小説、作曲などの創作物の模倣は、道義的にも、また著作権などの面からも、よくないこととされている。他人の創作物をまねすることはどこまでなら許されるか。この揺れ動く内面を見つめながら、主人公は葛藤する。やがて筆が止まるところに着目し、心のどこかで「いけないこと」として認識できている。しかし、周りの期待や焦りから正当化している自分もいる。ここは、生徒も似たような経験があることから共感を得やすい。順調にいていたにも関わらず、また誰にも分からないのにどうして「うしろめたい」気持ちが生まれたのか。中心発問に入る前に基本発問で焦点化する。生徒には、この主人公の気持ちに共感させながら、衝動的、発作的に自分中心に考えている様子を押さえる。

そして、父の言葉からしばらく考えたあと「自分が駄目だったら駄目なんだ」というフレーズを心の中で転がしながら自問自答する場面がある。このとき、理沙は何を感じたのか、自分を見つめ、自己対話をして「やっぱりやめよう」と至ったものは何かを考えさせる。この揺れ動く内面を見つめながら主人公は葛藤する。そして、内なる規範意識が源となって理沙が、「間に合わない」と分かりながらも書き直すきっかけになる。この教材は、主人公の立場に立って共感的に考え、良心を源とする規範意識の存在やその大切さに気付くことのできるものとなっている。本教材は、他人の著作権の取り扱いに関する内容を扱っているが、学びのテーマに迫るためには、著作権に焦点を当てるのではなく、自分の良心に焦点を当てて考えさせていく。

#### 4 教材分析



#### 5 指導の工夫

##### (1) 少人数での話し合い活動

学級全体よりも意見交流をしやすいペアでの話し合い、3～4人グループで話し合い活動を行う。互いに意見の交流を行う事により、多面的・多角的に深く考えさせたい。話し合いが終わったら席を戻して個人で再考する。そのあと、一人一人発表させる。

##### (2) 多面的・多角的な活動

ワークシートに「他の意見で参考になったこと」を記入できる欄を設けることで、異なる意見や考え方に触れる中で、新たな価値観を発見し、一面的な考え方から多面的・多角的な考え方へと変化したことを実感できるようにした。

##### (3) 考える必然性のある発問の工夫

最後の自己の生き方を見つめる発問で、生徒の身近な問題から、これからの関係してくる問題に広げて、これからの人としての生き方を考えさせる発問にした。「考えてみよう」「考えたい」発問は、生徒も主体的に考える。いつか自分に関係する問題、または現在抱えている問題でもあるので、考える必然性のある発問だと考える。

## 6 本時

### (1) 本時の目標

主人公の「自分を裏切らない」という姿勢を通して、自律的にきまりを守ろうとする道徳的判断力を養う。

### (2) 学習指導過程

	学習活動 (○主な発問・予想される生徒の反応)	◇指導上の留意点 ★評価の観点
導入 5分	<p>1 「自分の中できまりに対する基準はあるか」</p> <p>①提出物を忘れ友達のをを写す。</p> <p>②誰も見ていないとき信号無視をする。</p> <p>③うその理由でずる休みや早退をするなどについて考える。</p> <p>(バレなければやってしまうかどうか?)</p> <p>価値による導入</p>	<p>◇例を出すなど、簡易なものを想起させ、価値の導入にする。</p> <p>◇内面に関する事なので、無理に発表させないようにする。</p>
展開 40分	<p>2○手がとまりがちになり気が進まなかった理沙はどんなことを考えていたのだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私はこの絵を完成させていいのだろうか。</li> <li>・私はあの絵を真似しているだけじゃないか。</li> <li>・全部真似をしたわけじゃない。ヒントをもらっただけだから大丈夫だと思いたい。</li> <li>・自分の良心に従っていないと気付いた。</li> </ul> <p>◎「自分がダメだと思ったらダメ」という心の声にはどんな思いが込められているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バレなくても自分がだめだと思いながらやったことはいつまでも心に引っかかる。</li> <li>・終わらなくてもいいから、堂々と自分の作品を進めたほうが心もスッキリする。</li> <li>・悩みから解放されたことですっきりして、絵を描くことに楽しさを感じられる。</li> <li>・たとえコンクールの結果につながらなくても、自分が正しいと思う生き方をすべきだと気付いてせいせいした気持ち。</li> <li>・自分が好きなことを後ろめたい気持ちで取り組みたくない。</li> </ul> <p>(繰り返し発問)</p> <p>「理沙の中にコンクールに間に合わないと分かっ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆絵を完成させることに疑問を感じ始めたこと、理沙の気持ちの揺れ動きを押さえる。</li> <li>◆順調にいていたにも関わらず、また誰にも分からないのにどうして「うしろめたい」気持ちが生まれたのか。中心発問に入る前に基本発問で焦点化する。生徒には、この主人公の気持ちに共感させながら、衝動的、発作的に自分中心に考えている様子を押さえる。</li> </ul> <p>◇3、4人のグループで意見交流を行い、自分の意見を発表させる。話合いの内容も含めて、ワークシートに自分の意見を書かせたのち、他の人の意見も書かせる。その後、挙手または指名で自分の意見を発表させる。</p> <p>◇晴れやかな気持ちとなっている姿を捉える。理沙の中で変わったものとは。</p> <p>浅い価値しか出ない場合は発動する。</p>

	<p>ているのに、また書き直したのはどんな思いから？」</p> <p>○「自分を裏切らない」とはどういうことなのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなことをしたいなら正々堂々と物事を行う。</li> <li>・自分にはうそをつけない。</li> <li>・誘惑に負けないようにして自分の積み重ねた努力を大切にす。</li> <li>・良心の声に従って生きることが充実した生活を送ることができる。</li> <li>・判断する際は結果もしっかり考えた上で行動する。</li> </ul>	<p>(今日の授業で気付かせたいこと)</p> <p>◇「自分を裏切らない」ということは、自己の気高さに気付かせ、何が正しく、何が誤りであるかを自ら主体的に判断し望ましい行動がとれるようにする。</p> <p>◇善悪の判断の基準となる多面的なものの見方や考え方を身に付ける重要さに気づき、自分の行為の動機の純粋さにとどまらず、その行為の及ぼす結果についても深く考えられるようにすることが必要。(ア)</p>
<p>終 末 5 分</p>	<p>3 本時のまとめ</p> <p>○今日の授業を通して、考えたことや、感じたこと、これからは生かしたいことをワークシートに書く。</p>	<p>◇授業で学んだことや感じたことなどを記述するように促す。★(ア)(イ)ワークシート</p>

(3) 評価

(ア) 学習状況の評価

自らの規範意識をもち正しく生きようという規範意識をもつことができたか。

(イ) 道徳性に関わる成長の様子

今後の生活について、法やきまりを意識しながら正しく生きようという気持ちをふくらませることができたか。